

新著紹介：浜野博著『日生の方言 岡山弁の異端』

「日生の方言」を出版しました

浜野 博

八月に、『日生の方言 岡山弁の異端』を、手帖舎から出版することができました。

私の郷里、岡山県和気郡日生（ひなせ）町（現、備前市日生町）の方言をまとめたものです。ここでの「日生」とは、戦後合併した福河村（現在の寒河・寺山地区）を除く、旧日生地区本土と島とを指します。[大多府島だけは、歴史的経緯から岡山弁の地域です]

○本書の内容と、表記上のいくつかのこと

- ・取り上げた項目・語彙数は、1,700 余りです。
- ・項目は、五十音順になっています。
- ・語彙の収集は、大半が自分の使っている言葉、知っている言葉です。「ア行」から順に、抜け落ちがないよう拾い上げてゆく方法で書き出しました。家族や知人に尋ねたり、町の人たちの雑談の中から、「これもあった」とメモすることも度々ありました。
- すでに刊行されている方言語彙集その他、町誌や日生の民俗調査記録などの記述の中から、未収録のものや、古くから言われてきた方言を見つけたこともあります。
- 漁業関係の語彙や魚介類の名前などは、漁師から魚屋になった父などから聞き取りをして、かなりの収穫がありました。
- ・見出しの表記は、現代仮名遣いを用いました。[父=おとう。オトーとは書かない]。
例外として、「う」をそのまま「ウ」と発音する場合は、備考欄で指摘しました。
- ・アクセント表記は、傍線式を用いました。傍線は、高低のうち高い方だけに付けました。[一音の語の場合は、低音であると示すために下線を付したのがあります]。
- ・意味の記述や例文作成は、日常馴染んできた言い方を主にし、古典（歌舞伎や能・狂言なども）での使用例などは手許の古語辞典と照合しました。予想外に多くありました。
- ・「備考・用例」の欄をもっと広くしたかったのですが、これも思うに任せませんでした。

○本書作成の動機と経緯

・「日生方言集」を編もうと決めたきっかけや、刊行までの経緯などは、「まえがき」と「あとがき」に述べていますが、その若干を書き出してみます。

1. 岡山県の南東の隅、兵庫県赤穂市と境を接する小さい町の、その中でも町村合併前の旧日生地区のことばだけが、岡山弁といわれる方言の特徴とは著しく異なっているのはなぜだろうと疑問を抱き、とにかく日生ことばを集めようと決めたのが始まりでした。

2. 18歳で事故のため障害者となり、自ら出向いて聞き書きや語彙の収集をすることが困難になったのと、様々な疾病や、自身の怠慢のため、空白の年月の方が長くなり、30年以上を経てようやく1冊にまとめることができました。

3. まとめ終えてみると、一段落した喜びはひろんありますが、それ以上に、見えてきた今後の課題といえるものがあるのを、思い知らされています。

・淡路島の岩屋から移住してきたという言い伝え（そう記述した資料もあるという）など、確かめたいことがより具体的に見えてきています。

・瀬戸内海に面した漁村や島々に残る方言の中に、日生方言と共通するものが散見され、可能な限り地元の資料に当たる必要があるという気持ちが、強くなってきています。

・方言語彙を収集する過程で、語彙の珍しさを追うだけでなく、アクセントをもきちんと調査する必要があると気づかされました。アクセントを明記した方言集が意外に少ないことも知りました。あれかこれかではなく、語彙とアクセントとは同時に調査をすすめるべきだとも感じています。

一冊の小さな記録の出版から、見えてきたものや学ばされることながらが実に多いと判ったことも、もっとも大きな収穫の一つといえるかも知れません。

2008年9月9日

(見本。70頁の上1/3強)

語 彙	共 通 語	同 義 語	備 考 ・ 用 例
チヌ	(魚) クロダイ		
ちばける	ふざける。じゃれる。	ちょこでる	ちばげな=ふざけるな。 たわごとを言うな。嘘 を言うな
ちや	血		ちやがでた=血が出た
ちやあう	違う	ちやう	ちがう→ちやう→ちや あう
ちやい	血合い(魚肉の)		
チャッチャ	小型発動機船		エンジン音(チャッチ ャ)から チャッチャ【淡】
ちゃっちゃと	さっさと。てきぱきと		ちゃっちゃと【淡】

2008年8月4日 手帖舎(〒700-0845 岡山市浜野3-2-4-101 電086-225-4849) 発行
A5判 121頁+まえがき+あとがき 定価1200円(税込) ISBN978-4-88743-290-1
取扱書店:新岡山書籍 <http://shin-okayama.com/> ほか

付 『日生の方言』における尾高型の単語リスト

『日生の方言』では、見出しにアクセント記号を付けましたが、印刷の事情などで、平板型と尾高型の区別を、1拍の単語を除き、明記できませんでした。そこで、単語の末尾が「高」で終わっている単語のうち、尾高型だけを抜き出して並べます（1拍語を除く）。尾高型とそれ以外の型の両方を使う語も含めます。ここにあげた単語を除くと、単語の末尾が「高」で終わっている単語すべて平板型（平板型と、尾高型以外の型の両方を使う単語も含む）ということになります。

なお、付属語・接辞・複合語の一部にも、『日生の方言』で記号を付けましたが、ここでは扱いません。記号の付けかたをさらに検討して、あらためてまとめを行いたいと思います。

1拍の単語については、『日生の方言』で、平板型は見出しの下に線を引き、尾高型（＝頭高型）は見出しの上に線を引きました。

動詞・形容詞の終止形で末尾が「高」の単語はすべて、後ろに「とき」が高くつくので平板型です。従って、ここには動詞・形容詞は一例もあがりません。

副詞は、後ろに動詞を付け、その動詞が高く付くかどうかなどで、平板型かどうかを判断しました。

アクセントの記号は、単語の最初から何拍目の後で音が下がるか(1, 2, 3, 4…), 下がらないか(0)で示しました。頭高型を除き、2拍目から高くなるのが原則ですが、(a)○ッ○…の場合は3拍目から、(b)○ン・○ー・○イの場合は最初から高くなります。そこで、(a)の場合はLを、(b)の場合はHを付けます。例えば、せからしい__ __ __ __は4、せんぐり__ __ __ __は0H、テッポエビ__ __ __ __3Lとなります。

促音ッの場合は必ずその後で音が下がります。しかし、数字はその前で音が下がる形にしてあります。

なお、『日生の方言』には、(a)の例外が1例、(b)の例外が2例みつかります。もっかい4H・4L（もう一度。aのはずですがbと同じ音調も）； あんな0L（呼びかけ。bのはずですがaと同じ音調）、うんにゃ0L（否定。同左）がそれです。前の1例は語源のモーの影響、後の2例はイントネーションの影響でしょうか。

『日生の方言』の見出しは1709ありますので、その何項目目にあたるのかを左端に付けました。その項目の大体の掲載頁数がわかると思います。

とりあげた項目は、「語彙」（＝見出し）と「同義語」の欄にあるものです。備考・用例の部分は扱いませんでした。『日生の方言』の中で単語を探しやすいように、その行の「語彙」「同義語」の全ての単語をあげ、尾高型と関係ない語を[]で囲みました。

0006	アイゴ 3H	0063	[あほくらい あほう] あほたれ 4
0008	あいだけ 4H あんだけ 4H	0071	あゆみ 3 [ばた]
0010	あいら 3H	0093	あんばい② 4H
0021	[アカメ] シュクチ 3	0116	いきだま 4 いきざま 4
0030	あさま 3	0118	いきばち 4
0032	あしこ 3 あっこ 3L	0120	いきもん 4
0033	あしたり 4	0124	いけま 3
0034	あしつぎ 4	0138	いしわり 4 [オオアサリ]
0037	あせもの 4 あせもん 4	0145	いちんち 4
0058	あば② 2	0172	いべ 2
0059	あば③ 2	0173	いべっさん 5 [おいべっさん] えべっさん 5
0060	あばき 3		

0175	いめ 2	0541	ぐるみ 3
0176	いもと 3	0550	げさく 3,0
0186	いらんこと 5	0557	[ケッケ] ダイチョウ 4H [ケッケジャコ]
0188	いりこ② 3 [いりぼし]	0577	こうがれ 4
0195	いわ 2	0583	こえんさん 5
0202	うそたれ 4	0589	こぎ 2 [せんしゃこぎ]
0205	うたせ 3	0617	こっから:こっから 4L (頭高型も併用)
0206	うち 2 (家の意味。女性の一人称では0)	0621	ごっつおうさん 6L ごっつおさん 5L
0211	うで 2	0642	こわ 2
0225	ええ+め 1+1	0665	さげ 2
0237	えぶ 2	0670	さし② 2
0248	おいこ② 3H	0678	さぶけ 3
0249	[おうこのぼう] おうこ 3H	0689	さんによ 3H
0253	おえ 2	0695	しおまち 4
0260	オオダコ 4H	0696	しおやみ 4,0
0264	おおもの 4H [おおけなこと]	0699	じがた 3
0278	オコデ 3	0706	シクチ 3
0281	おさえ 3	0707	じげ 2
0290	おじゃまさん 5? [おじゃまさんで]	0715	じっかい 4L
0298	おだれ 3	0716	しっけい 4L
0310	おどいら 4 わいら 3H	0720	しと 2
0316	おとこし 4	0733	しび 2
0317	おとこのや 5	0739	しめし 3
0320	おとと 3	0776	しよ① 2
0323	おどれ 3	0802	しりぼ 3
0325	おどれくそ 5	0816	ずえる 2
0328	おなごし 4	0822	ズゲ 2
0337	おまい 3,0(尾高型は怒ったような感じ)	0825	すごき 3
0340	おもて 3	0828	ずず 2
0342	おやかた 4	0848	せいろ 3H
0350	おん 2H [おんつ おんた おんたあ]	0863	せど 2
0352	おんし 3H	0887	そえ 2 にき 2 ねき 2
0353	[おんびん] おんびんくそ 6H	0890	そげ 2
0366	かいしょ 3H	0891	そこいら 4
0380	がき 2	0894	そばい 3
0382	かけ 2	0899	そんなり 4H
0398	かた① 2 たか:たか 2:2H(2Hは前から続けた場合)	0914	ダイチョウ:ダイチョウ 4H:3H [ケッケケッケジャコ]
0420	かど 2	0920	たか 2 かた 2
0428	かばち 3	0929	たたえ 3
0458	ガンゾ 3H [ガンゾウガレイ デビラ]	0931	だち① 2
0494	きれ 2	0932	だち② 2
0495	きわぞり 4	0943	たにご 3
0506	きんりよ 3H	0948	たま 2
0509	くいもん 4H	0949	だま 2
0522	くちなわ 4	0960	だんずり 4H
0532	[クラゲイヨ] クラゲ 3 [シズ]	0964	たんび 3H
0538	ぐる① 2	0983	ちょうな 3H
0539	ぐる② 2		

0990 ちょっこん 4L
 1008 つぐ② 2
 1009 つくり 3
 1012 つけめ 3
 1020 つぼあみ 4 つぼなみ 4 ますあみ 4
 1022 つまきのは 5
 1030 つれ 2
 1033 つわ 2
 1042 てご 2
 1045 てっきゅう 4L
 1047 てったい 4L
 1052 てどらす 3
 1059 てめ 2
 1061 でよ 2
 1062 てよい 3
 1071 とい 2
 1084 とうら 3H
 1085 トウラゴ 4H
 1087 とおし 3H
 1104 どしょね 3
 1106 どたま 3
 1126 どべ 2
 1131 とも 2
 1146 どんがら 4
 1152 どんどろ 4H
 1160 ながせ 3
 1163 なぐれ 3
 1203 ニイラ 3H
 1206 にき:にき 2:2H ねき:ねき 2:2H(2Hは前
 から続けた場合)
 1207 にぎやかし 5
 1216 によい 3
 1223 ぬけさく:ぬけさく 0,4 :2
 1224 ぬしと 3
 1228 ねき 2 にき 2
 1244 のうこ:のうこ 3H:2H
 1246 のうり② 3H のり 2
 1259 [ばいたれ] ばばたれ 4
 1278 はしり 3
 1281 バスば 3
 1287 はったいこ 5L
 1292 はと 2
 1295 ハネ 2
 1309 はらさげ 4
 1313 [ばり②] おなごばり 5
 1334 ひかえ 3
 1335 ひがな+いちんち 1+4
 1347 ひち 2
 1350 ひちや 3

1380 ふいぼ 3H
 1385 [ぶげんしゃ] ベんしゃ 3H
 1397 ぶに 2
 1399 ぶり 2
 1400 ふろざめ 4
 1412 へた 2 [べろ]
 1440 ほおだま 4H [ほたかばち] ほだま 3
 1472 ホングリ 4H
 1482 まあす② 3H
 1520 まら 2 [ちんぼ]
 1523 まんが 3H
 1525 まんだい② 4H
 1530 みしろ 3
 1534 みせや 3
 1540 みば 2
 1559 めっそ 3L
 1566 めん 2H [めんた めんつ めんたあ]
 1569 めんめ 3H
 1579 もっかい:もっかい 4H:4L
 1587 もの 2
 1597 もん 2H
 1646 ようさ:ようさ 3H:1 ようさり 4H
 1677 らく 2
 1689 わいら 3H
 1696 わた 2

○その他のアクセントの訂正

[]内は、当該の行にあるが、訂正と無関係の単語です。

0191 いり+ような 1+2→1+0H
 0464 [ギース] チョンギース 3L→4H [ギス]
 0590 [こきちゃんない こぎたない] こぎちゃんない 2H→2
 0836 すばろしい 0or5→4 [すばろうしい]
 0916 [だいなあ だいやあ] どわいやあ 0or5→4
 1694 [わぎに] わぎっと 2(促音が低くなっているが、促音は高い) わだっと 2(同左) [わだに]